

会員数	39,822	(前月比) +	42
郵送	9,415	(前月比) -	74
手配り	28,684	(前月比) +	874
協同基金到達額	2,522,916,000円(5/31現在)		
	[前月比 630,000増]		
協同基金出資者数	20,506名(5/31現在)		
いのちを守る助け合い募金額	28,202円(5/1~31)		



1部30円

「あってよかった友の会」

「入ってよかった友の会」



をひろげ



仲間をふやそう!

2021年度 健康友の会みみはら 代表世話人

(敬称略・順不同 すべて再任)

会長	江戸 道子	(西区、ふくいずみ支部)
副会長	亀田 孝則	(堺区、みなと支部)
	林 正二郎	(中区、八田・宮園支部)
	澤田 節子	(北区、新金岡支部)
	森島 嘉之	(高石、高石東支部)
	土井 康文	(本部)
事務局長	篠原 聡	(本部)
事務局次長	福岡 泰治	(本部)
代表世話人	建井 憲二	(堺区、東西支部)
	磯田 実	(堺区、大仙西支部)
	小倉 孝雄	(西区、鳳支部)
	岩崎 和美	(西区、向ヶ丘支部)
	丸井 文子	(中区、八田・宮園支部)
	鯛天 満広	(和泉、和泉支部)
	古賀 光政	(北区、もず支部)
	大槻 洋子	(南区、泉ヶ丘西支部)
	岡本 武	(南区、美木多支部)
	寺西 滯子	(高石、高石北支部)

5月29日に開催予定していた「健康友の会みみはら第34回総代会」は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令の下、開催を中止しました。6月の代表世話人会議にて「20年度の総括と21年度方針」と「2021年度の役員体制」を確認しました。

2020年度は、コロナ禍で活動の自粛が余儀なくされた1年でした。21年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を全力で防ぎ、いのちとくらしを守ることを最重点に、「ふれあい・支えあいのまちづくり」活動の1環として、「お元氣ですか対話・訪問」や「高齢者アンケート」に取り組みます。また、「健康づくり」や「フレイル予防」をテーマにした取り組みを



「健康友の会みみはら第34回総代会」は書面にて

通して、「地域まるごと健康づくり」をすすめます。

お知らせ

次号(8月号)の「ととも」の発行は、7月29日になります。(編集委員会)

一人ぼっちの仲間をつくらないため 皆さんのお力をお貸しく下さい

会員の皆さまの日ごろの友への協力、本当にありがとうございます。

新型コロナウイルスは、収束するどころか非常事態が続いています。こんな事態になるとは、国や行政の対応のまずさも目に余るものがあります。入院も出ずに自宅で亡くなる人が後を絶たない状況の中で、病床削減法を強行し、高齢者の医療費2倍化法案を成立させました。医療に携わる人たちが、限界に達しているのもご吹く風。また、国民に自粛を強いる中でオリンピックの開催の強行。あげればきりがありません。

友の会活動も自粛を余議なくされ、外出もままならない状況の中で、どうすればいいか思案しています。2年連続の文書総会となり、皆さんの生の声を聞く機会がなくなり、残念です。

友の会は、「だれもが安心して住み続けられるまちづくり」を目指して、活動を進めています。一人ぼっちの仲間をつくらないためにも、会員の皆さん、お力をお貸しく下さい。みんなでお力をお貸し、この難局を乗り越えましょう。



健康友の会みみはら
会長 江戸 道子

聴診器

コロナ感染を恐れて過ごしてきた、この1年半。高齢者夫婦二人暮らしの我が家。熱を出したら、どうやって発熱外来までいくの?と不安に思いながら過ごしてきた▼やとつワクチン接種が始まり、7歳の夫の予約をとろうと、かかりつけのみみはら鳳クリニックに5月11日から電話をかけた。掛けても、掛けても、話しかけても、3日目の終わり掛けにやっととれた予約が、7月3日。まだ2カ月も先!▼最近出来た医院のコロナワクチン専用電話に掛けたら、運良く繋がりました。6月3日に予約でき、鳳クリニックはキャンセルした▼5月17日から私の予約に取がかかったが、電話はずっと話中。ノルディックウオーフの仲間聞いたY病院に掛けたら、すぐに繋がったが、7月30日。2カ月半も先!▼以前、耳原病院にボランティアで来ておられたSさんに話をしたら、「娘がインターネットで取ってくれたのよ。山上さんの手伝うよ」と言ってくれ、その言葉に背中を押されて大規模接種センターのネット予約に挑戦。運良く予約が出来たが、その後、一杯になって締め切られた。間一髪。もっと楽しんでほしい。(山上佳代子)